



# NEWS LETTER

## 活動報告：福井市明新公民館 少年育成事業

11月13日、福井市明新公民館にて、小学4～6年生を対象として「未来をもっと身近に！未来のエネルギー体験会」の講座が開催され、ふくい水素エネルギー協議会事務局の羽木による「水素ってなに？」のお話し、ナカテックの燃料電池自動車MIRAIの乗車体験、MIRAIの構造学習、イワタニ水素ステーション福井灯明寺の見学を行いました。14名の子供たちが参加して、地球温暖化の現状、温暖化を抑制しなければならない理由、温暖化と二酸化炭素の発生の原因、国が推進する温暖化対策について学習し、私たちにできることについて皆で考えました。

MIRAIの特徴と構造についてスライドで予め説明した後、MIRAIのボンネットを上げて構造を確かめてもらうとともに、燃料電池について少し詳しく説明しました。エンジン自動車のボンネットを上げると、エンジン、ラジエーター、エキゾーストパイプ、エアフィルター、鉛バッテリーなどがびっしりと詰め込まれていますが、MIRAIの場合には真ん中にどんと燃料電池が置かれ、搭載されている部品が少なく、子供たちは拍子抜けの感じでした。運転席や後部座席に座ったりして、ハンドルの回し心地や乗り心地を確かめる人もいました。車内はこれまでの車と大きくは変わらないが、車体の割には狭いと言う子供がほとんどでした。



「水素ってなに？」のお話し



イワタニ水素ステーション福井灯明寺の見学



水素充填方法の説明を受ける参加者

明新地区の芦原街道沿いに「水素ステーション」が建設されたことと、燃料電池自動車に水素を充填する場所であることは皆さん知っていましたが、この施設に入ったことがない人ばかりでした。MIRAIに水素を充填する作業を見学して頂きましたが、その充填方法に興味を持った子供が多くいました。水素は見えないのか？ 充填された水素量はどのように分かるのか？ カチャッとノズルをはめるだけで水素は漏れないのか？ 水素の充填にかかる時間は？など、多くの質問がありました。また、バックヤードも見学させて頂きました。そこに置かれていた水素の容器（カードル）に興味津々。この容器にはどのくらいの水素が入っているのか？ どこから水素を運んでくるのか？ 燃料電池自動車までどのように水素を送るのか？など、質問攻めでした。施設見学にご協力頂いた岩谷瓦斯(株)中部事業部イワタニ水素ステーション福井灯明寺の長谷川様に厚くお礼を申し上げます。

ふくいSDGsパートナー

### 登録証

一般社団法人  
ふくい水素エネルギー協議会 様

貴法人をふくいSDGsパートナーとして登録します

有効期限 / 令和6年3月31日



令和3年11月17日

福井県知事  
杉本 達治



ふくいSDGsパートナー登録証

## ふくいSDGsパートナーに登録！

福井県では、SDGsの理念に沿いながら、持続可能な地域・社会づくりを全県一体となって進めるため、企業や団体などが参画できる官民連携プラットフォーム「福井県SDGsパートナーシップ会議」を設置し、「ふくいSDGsパートナー」への登録を推奨しています。そこで、ふくい水素エネルギー協議会も登録申請し、11月17日付で登録が認められました。「ふくいSDGsパートナー」登録制度は、このプラットフォームに参画する企業・団体等を、SDGs達成を目指して積極的に取組みを推進するとして、県がHPなどでPRするものであり、11月30日現在の登録総数は543団体となっています。登録によって、ふくい水素エネルギー協議会は福井県版SDGsの公式ロゴマークを名刺やパンフレットに使用することができるようになりました。

## 活動報告：「ふるさと環境フェア2021」

11月23日、福井県、環境ふくい推進協議会、福井県地球温暖化防止活動推進センターが主催した福井県産業会館での「ふるさと環境フェア2021」に出展しました。県民が環境について楽しく学ぶ場として開催された今年のフェアでは、「未来へつなげるふくいの環(わ)～地球がたいへん!子どもたちの未来、あなたが動けば明日が変わる～」をテーマとし、将来世代に繋げたい福井の環境について、体験を通して子供たちが理解を深める楽しい催しとして運営されていました。木のおもちゃ、木製の遊具には順番を待つ親子の列ができていました。ステージでは鯖江市出身の826askalによるエレクトーン演奏があり、ステージ前のカメラ・ビデオの数と、それら进行操作する人の熱気に驚かされました。

ふくい水素エネルギー協議会は、地球温暖化の現状、協議会の活動、燃料電池自動車(MIRAI)の構造、県内での水素ステーションの設置状況を示すパネルの展示、「脱炭素社会(水素社会)」に関する動画の放映、MIRAIの展示を行いました。展示ブースは、会場出口のすぐ横、飲食コーナーの前で、人通りの多い一等地にあり、多くの方に覗いて頂きました。お陰でたくさんの方に協議会の存在を知って頂けたと思います。MIRAIに関心があってブースを訪問頂いた方がほとんどで、ボンネット内部を覗き込んだり、運転席と後部座席に座って運転方法と乗り心地を確かめる方が多くおられました。



ふくい水素エネルギー協議会の展示ブース前の飲食コーナーの賑わい

ふくい水素エネルギー協議会の展示ブース

## ホームページ (<http://fukui-suiso.jp/>) の作成

ふくい水素エネルギー協議会のホームページ、<http://fukui-suiso.jp/>をご観頂きましたでしょうか。まだ不完全な状態で、「福井県水素ロードマップ」のページなど、これから充実させる予定であります。活動予定、活動報告に加えて、情報交換の場としても利用予定です。会員ページでは、これまでにお送りしたNEWS LETTERについてもダウンロードできるようになります。

トップページは、自然豊かな福井県をイメージして作られています。皆様のご意見をお聞かせください。



ふくい水素エネルギー協議会のホームページのトップページ

(1) 工業ガスの専門誌で、毎月2回発行される“ガスレビュー (No. 972(11月15日号)、13頁)”に、10月21、22日、福井県産業会館で開催された北陸技術交流テクノフェアでのふくい水素エネルギー協議会の活動と、岩谷産業間島社長の講演『水素社会の実現に向けて』の概要が記事として掲載されました。

(2) 福井県は、ふくいSDGsパートナー同士の連携促進や次世代育成に向けた事業の企画・提案を募り、効果的な事業に応援金を交付する「ふくいSDGsパートナー活動応援事業」を行っています。この事業として、SDGs達成に向けて優れた取組みを行っている企業・団体・個人を表彰する事業「福井SDGs AWARDS 2021」があります(実施主体: 仁愛大学)。ふくい水素エネルギー協議会はふくいSDGsパートナーに登録されましたので、これに応募します。

一般社団法人 ふくい水素エネルギー協議会  
〒919-0411 福井県坂井市春江町藤鷲塚37-9  
株式会社 ナカテック内 事務局 羽木  
TEL : 0776-58-3930 FAX : 0776-51-5144

## お知らせ